

達成度：H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## まちづくり課の目標（平成28年度）自己評価書

まちづくり課長 松本 有二

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 町道の整備と維持</b></p> <p>(1) 整備 JR成田線で分断された中心市街地の円滑な交通処理を図るため、計画している国道51号と国道296号を連絡する道路について、関係機関との協議を進め、実施設計を行います。また、中央台地区から中川を横断し酒々井消防署に連絡する道路の用地取得を進めます。 その他、伊篠地区や本佐倉地区（根古谷）の道路拡幅工事や酒々井地区（横町）の歩道設置工事を行います。</p> <p>(2) 維持 主に幹線道路について、ひび割れ等の路面状況を踏まえ、緊急性のあるものを優先し、3～5路線の舗装修繕を行います。</p>	<p>3</p> <p>4</p>	<p>(1) 国道51号と296号を連絡する道路については、JR軌道横断の工法検討を実施しました。 伊篠地区、本佐倉地区の道路拡幅工事については、一部区間を舗装工事し、供用を開始しました。 酒々井地区の歩道設置工事については、一部区間で無電柱化に向けた共同溝の埋設工事を実施しました。 中央台地区から消防署を連絡する道路の用地については、用地取得が進みませんでした。</p> <p>(2) 町道3路線の舗装修繕工事を実施しました。</p>
<p><b>2 中川流域の水害対策</b></p> <p>調節池整備の実現に向け、社会資本整備総合交付金や他の交付金の活用、その他有効な財源確保に努め、事業化を図ります。</p>	<p>3</p>	<p>洪水検討業務委託を実施、JR下流部及び開発計画の流出抑制を基本に洪水処理計画を検討し、事業化に向け進展しました。</p>
<p><b>3 人口減少対策</b></p> <p>(1) 土地利用の促進 駅周辺や市街化区域内の未利用地について調査分析し、地域の実情に合わせた計画を策定するなど、適正な土地利用への誘導、促進を図ります。</p>	<p>3</p>	<p>(1) 立地適正化計画策定業務を実施、その中で区域検討に向けた基本方針、居住誘導・都市機能誘導区域の考え方を整理しました。</p>

